

長野県における豚コレラ対策の状況について

1 国内の飼養豚での豚コレラ発生状況

38 事例（防疫措置対象農場：72 農場 3 と畜場 132,933 頭） H30(2018).9.9～R1(2019).8.24

発生県	発生状況
長野県	1 農場 1 と畜場 2,482 頭 発生農場（宮田村 2,444 頭）、と畜場（松本市 38 頭）
岐阜県	22 農場 2 と畜場 61,533 頭
愛知県	44 農場 62,308 頭
滋賀県	1 農場 699 頭
大阪府	1 農場 737 頭
三重県	1 農場 4,189 頭
福井県	2 農場 985 頭

2 野生イノシシにおける豚コレラ発生状況

(1) 全国の野生イノシシの豚コレラ検査実施状況 H30(2018).9.14～R1(2019).8.26 (長野県：8.27)

陽性確認県	検査状況
長野県	陽性 81 頭、陰性 180 頭（計 261 頭）
岐阜県	陽性 865 頭、陰性 1,102 頭（計 1,967 頭）
愛知県	陽性 84 頭、陰性 912 頭（計 998 頭）
三重県	陽性 4 頭、陰性 134 頭（計 138 頭）
福井県	陽性 7 頭、陰性 38 頭（計 45 頭）
富山県	陽性 5 頭、陰性 40 頭（計 45 頭）
石川県	陽性 4 頭、陰性 91 頭（計 95 頭）
その他都府県	陽性 0 頭、陰性 366 頭（計 366 頭）

(2) 県内の野生イノシシの豚コレラ検査実施状況 H30(2018).9.29～R1(2019).8.27

発見地域 (地域振興局別)	死亡		捕獲		合計	
	検査頭数	陽性	検査頭数	陽性	検査頭数	陽性
佐久	—		—		—	
上田	6		—		6	
諏訪	1		6		7	
上伊那	7		27	5	34	5
南信州	7		32	2	39	2
木曾	26	17	91	36	117	53
松本	25	14	9	7	34	21
北アルプス	8		—		8	
長野	12		—		12	
北信	4		—		4	
合計	96	31	165	50	261	81

※陽性となった野生イノシシの発見場所（塩尻市、伊那市、南箕輪村）から半径 10km 圏内に養豚農場が 4 つあり、監視対象農場に指定。

陽性イノシシ発見市町村：11 市町村 調査対象地域（10km 圏内）該当市町村：26 市町村

3 野生イノシシに対する経口ワクチンの散布

(1) 経口ワクチンの先行散布状況

野生イノシシへの豚コレラ感染拡大防止のため、県独自に緊急的に経口ワクチンの先行散布を実施

区分	木曾	南信州	諏訪	上伊那	松本	計
散布月日	7月19日	7月22日	7月29日	7月29日	7月29日	
散布場所	木曾町 木祖村	根羽村 平谷村	岡谷市 諏訪市	伊那市 辰野町	塩尻市	9市町村
散布範囲	40 km ²	40 km ²	20 km ²	50 km ²	10 km ²	160 km ²
散布カ所	20カ所	20カ所	10カ所	25カ所	5カ所	80カ所
散布量	400個	400個	200個	500個	100個	1,600個
いのしし摂取率 【想定】	53.0%	37.3%	33.0%	50.8%	70.0%	46.9%

(2) 野生イノシシに対する経口ワクチンの本格散布の計画

ア 散布スケジュール

散布エリア 区分	松本市梓川周辺	塩尻市片丘周辺 松本市中山、里山 周辺	阿智村清内路 周辺	阿南町、天龍村 周辺
踏査	令和元年 8月28日(水)～8月29日(木)			
餌付け	令和元年 8月31日(土)～9月3日(火)			
散布	令和元年 9月5日(木)～9月8日(日)			
回収	令和元年 9月10日(火)～9月13日(金)			

(3) 長野県豚コレラ経口ワクチン対策協議会の設立

ア 設立の目的

野生イノシシへの豚コレラ経口ワクチンの野外散布の実施により、野生イノシシを介した豚コレラウイルスの拡散防止を図る

イ 設立年月日

令和元年8月20日(火) 設立

ウ 協議会構成員

区分	団体名
長野県	長野県農政部 (農業政策課、農業技術課、園芸畜産課)
	長野県林務部 鳥獣対策・ジビエ振興室
	長野県環境部 自然保護課
	地域振興局 (南信州【農政課、林務課】、松本【農政課、林務課】)
	家畜保健衛生所 (飯田、松本)
関係市町村	阿智村、平谷村、阿南町、売木村 松本市、塩尻市
関係団体	一般社団法人 長野県畜産会
	一般社団法人 長野県猟友会
	一般社団法人 長野県獣医師会
	長野県養豚協会

※構成員は、散布範囲の拡大に伴い変更となることを想定

1 目的

県内で野生イノシシへの豚コレラ感染が急速に拡大しているため、緊急的に県内全戸の養豚農場への防護柵等の設置、定期的な消毒を実施するとともに、専門家による現地指導を行うことによりバイオセキュリティの強化、野生イノシシの拡散防止を図り、養豚農場の防疫体制を強化する。

2 事業内容 【事業主体：県（（1）ア（7）～（イ）は除く）】

(1) 養豚農場への支援【120,151千円】

ア ハード対策（93,731千円）

(ア) 野生イノシシ侵入防止用の防護柵の設置

概要	事業実施主体	補助率	備考
野生イノシシ等の養豚農場への侵入防止を強化するため、防護柵の設置を支援	一般社団法人 長野県畜産会	1/2（国） 1/4（県）	

(イ) 野生動物侵入防止用の防獣・防鳥ネットの設置及び農場出入口の車両消毒装置の設置

概要	事業実施主体	補助率	備考
野生動物の養豚農場への侵入防止を強化するため、防鳥・防獣ネットの設置を支援 養豚農場へ出入りする車両を介した感染防止を強化するため、消毒ゲートや動力噴霧器設置を支援	長野県養豚協会	1/2（県）	

(ウ) 補助対象

養豚農家

イ ソフト対策（26,420千円）

(ア) 養豚農場での消毒用資材の購入

- 野生イノシシの豚コレラ感染拡大により病原体の侵入リスクが高まっていることから、県内の養豚農場へ防疫に必要な消毒用消石灰を配付

(イ) 小型野生動物に対する専門的衛生指導

- ネズミ等の小型野生生物による養豚農場へのウイルスの媒介が指摘されていることから、専門家に委託して、各養豚農場で衛生指導を実施

(2) 野生イノシシ対策（豚コレラウイルスに感染した野生イノシシの拡散防止）【90,690千円】

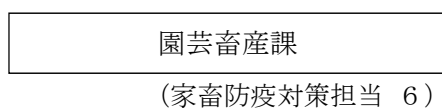
- 野生イノシシを感染確認地域から拡散させないための捕獲活動の実施

5 組織改正（令和元年9月1日付け）

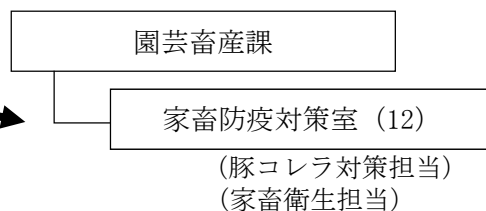
養豚農場への防疫対策支援強化、野生イノシシの感染拡大防止を図るため、令和元年9月1日に以下のとおり組織改正を実施

1 家畜防疫対策室の設置

【現行】

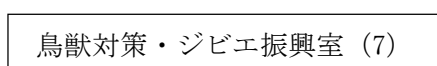


【改正後】



2 鳥獣対策・ジビエ振興室の人員体制の強化

【現行】



【改正後】

